

生野区地域防災計画

～ 区民のみなさまとともに
進める防災・減災の取組み ～

平成 27 年 11 月

生野区役所

目 次

はじめに	...	3
第1章 災害想定		
1 自然災害		
(1) 地震、液状化	...	5
(2) 津波(東南海・南海地震による想定)	...	12
(3) 河川氾濫(大雨で川から水があふれ出た場合の想定)	...	13
(4) 内水氾濫(大雨で下水道から水があふれ出た場合の想定)	...	18
2 地震が起きたら		
(1) 地震だ ~ 自宅にいるとき ~	...	18
(2) 地震だ ~ 外出中のとき ~	...	19
3 風水害時に対する備え		
(1) 風水害から身を守る	...	20
(2) 風水害時に避難する時は	...	21
4 火災・事故	...	22
5 避難場所について	...	22
第2章 対策		
1 自助(一番大事なのは、一人一人が取り組む防災)	...	24
2 共助(地域や身近にいる人同士が助け合って取り組む防災)	...	27
3 共助(企業・学校・社会福祉施設等の取り組む防災)	...	28
4 公助(国や地方公共団体等が取り組む防災)		
(1) 区役所の平常時の主な取り組み	...	32
(2) 災害時における区役所の活動	...	34
(3) 生野区地域防災計画【行動マニュアル】	...	42
【関連資料】	...	43

はじめに

1995年（平成7年）1月の「阪神・淡路大震災」や2011年（平成23年）3月の「東日本大震災」等、多くの尊い生命を奪った大規模な地震が相次いで発生しており、近い将来、東海・東南海・南海地震や、これらが連動した南海トラフにおける巨大地震が発生するといわれています。

さらに地震だけでなく近年は各地域で台風や豪雨等、様々な自然災害が発生し、尊い生命や財産が失われており、今まで以上に災害に対する備えが必要となっています。

生野区では、いつ起こるか分からない地震や豪雨等多様化する災害に備え、災害から区民の皆様の尊い生命、身体及び財産を守るため、「生野区地域防災計画」を策定し、様々な対策を行い、災害に強い安全なまちづくりに努めてまいります。

これまでの震災等から得た防災・減災についての教訓を生かし、災害が発生した場合は、生野区内にあるまちづくり協議会を中心とした自主防災組織を中心に「自分たちの地域は自分たちで守る」という防災意識のもと、公的機関がかけつけるまでの間、住民同士で助け合い、救出・救護、初期消火することがたいへん重要なこととなります。また、大規模災害では、行政が全ての被災者を迅速に支援することが難しいこと、行政自身が被災して機能が麻痺するような場合があることが明確になりました。（「公助の限界」）

そこで、公的機関としての「公助」に取り組むつつ、区民や事業者の方々におかれましても、「自助」・「共助」による積極的な取り組みが必要となります。自然災害をくい止めることはできませんが、「自助」・「共助」そして「公助」の取り組みが機能するよう災害に対する日頃の備えや防災訓練等を積み重ねていくことで被害を最小限にとどめる減災につながると考えます。

生野区役所

第1章 災害想定

大阪市域で想定される災害は、次のとおりであります。

1 自然災害

(1) 地震、液状化

(2) 津波 (東南海・南海地震による想定)

(3) 河川氾濫 (大雨で川から水があふれ出た場合の想定)

(4) 内水氾濫 (大雨で下水道から水があふれ出た場合の想定)

2 火災・事故

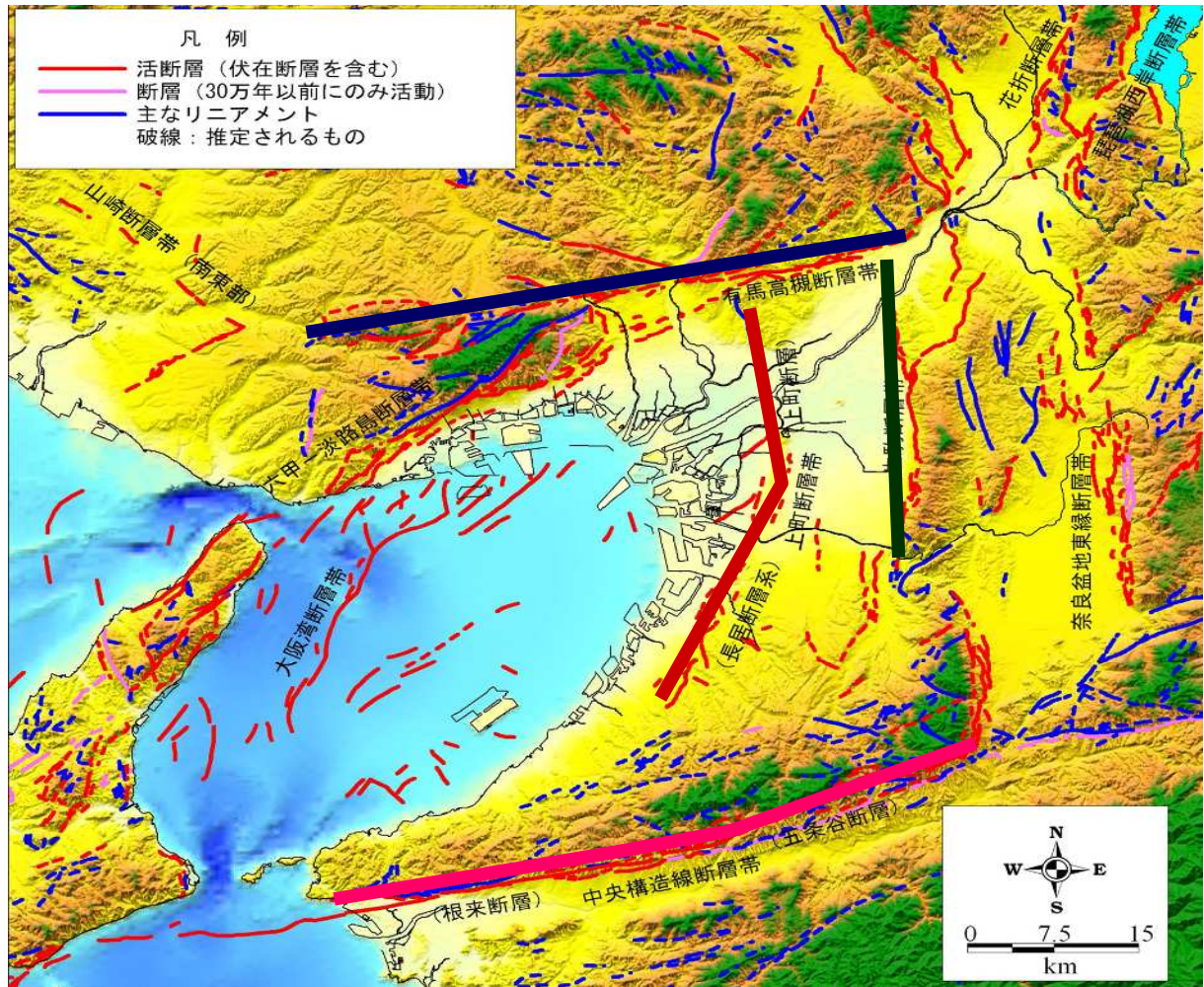
住宅・ビルの火災、道路交通の事故、鉄道事故、

ヘリコプター・航空機の墜落、石油・ガス・化学物質の漏れ・爆発 等

1 自然災害

(1) 地震、液状化

ア 大阪市域に想定される、内陸活断層による地震を示しています。



内陸活断層の位置

上町断層帯
上町断層帯地震

生駒断層帯
生駒断層帯地震

有馬高槻断層帯
有馬高槻断層帯地震

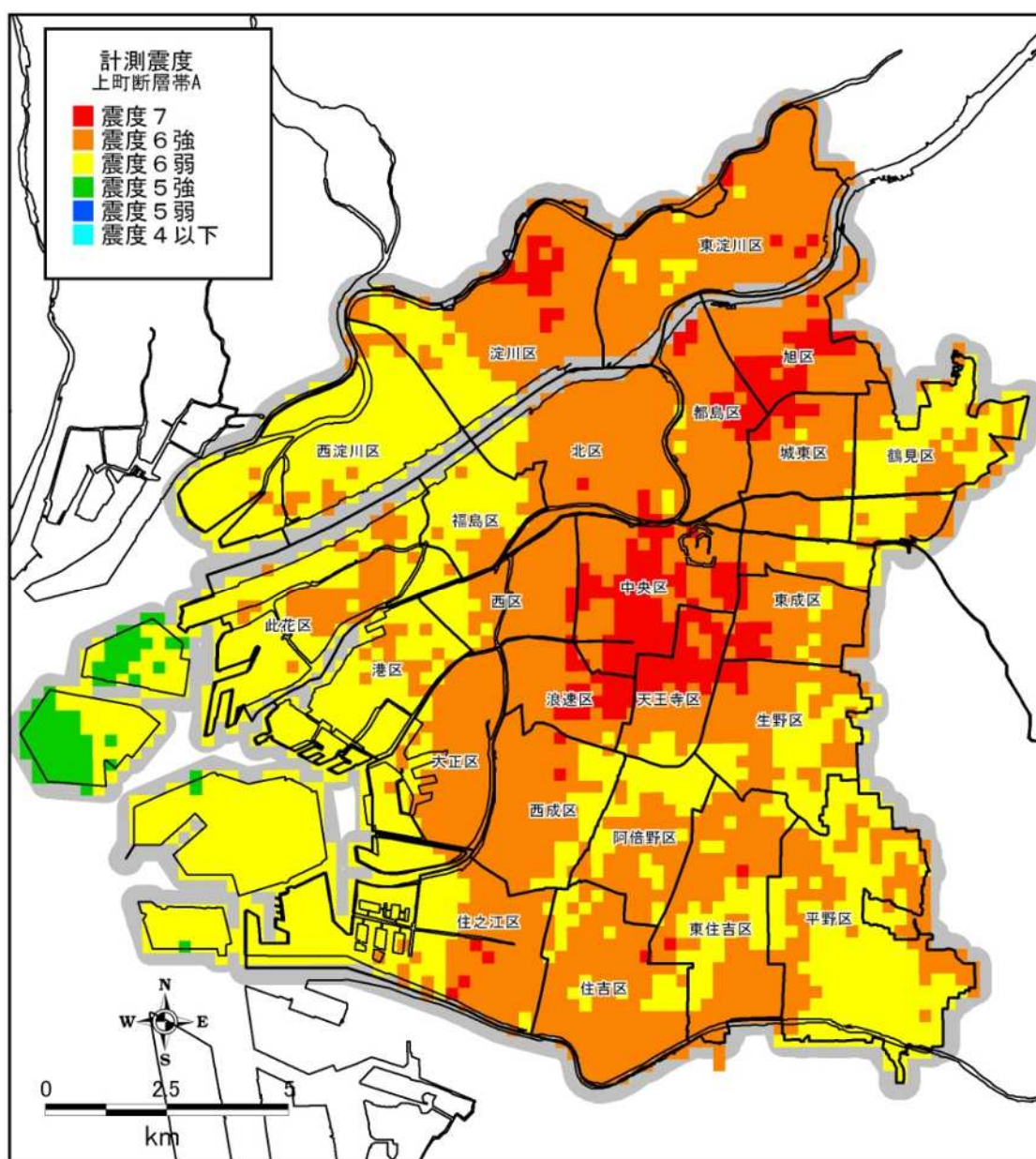
中央構造線断層帯
中央構造線断層帯地震

区において想定される内陸活断層による地震被害は次のとおりであります。

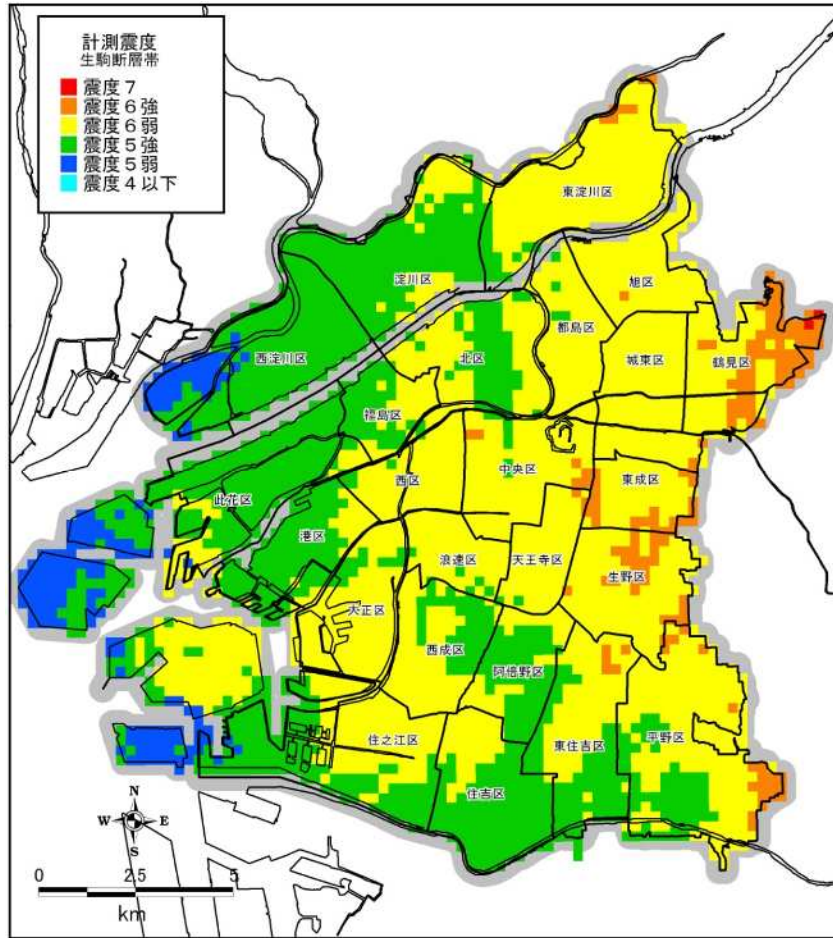
活断層の名称	地震規模	生野区において想定される被害等		
		震 度	死者数	建物の全半壊
上町断層帯	7.5～7.8	6 強	427人	24,440戸
生駒断層帯	7.3～7.7	6 弱	351人	22,997戸
有馬高槻断層帯	7.3～7.7	5 強	0人	288戸
中央構造線断層帯	7.7～8.1	5 強	0人	355戸

内陸活断層による地震の震度分布

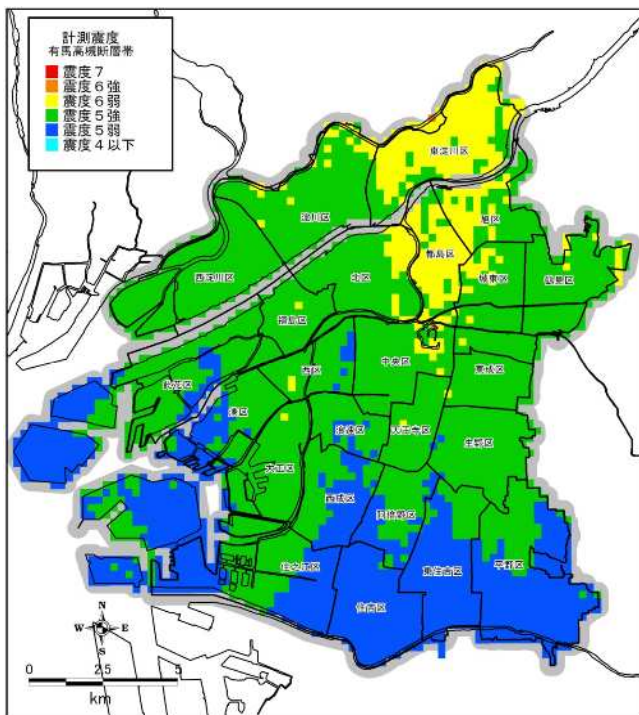
上町断層帯地震



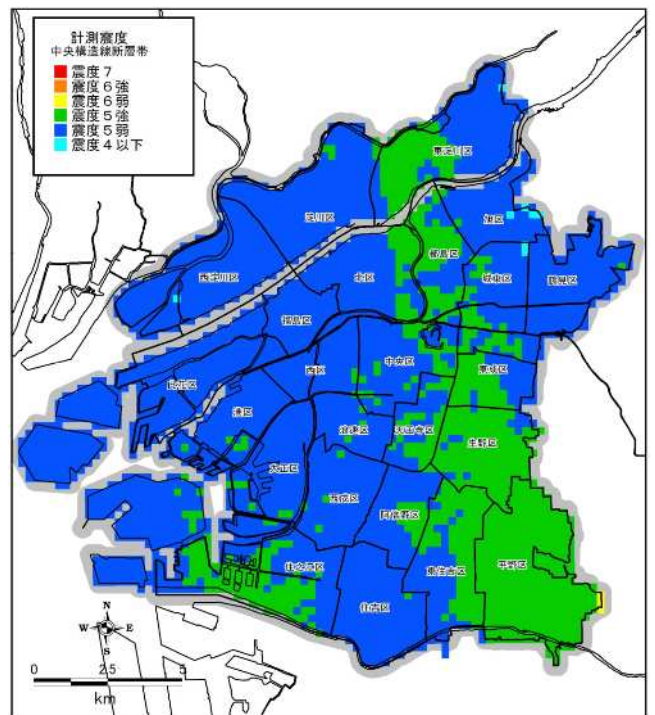
生駒断層帯地震



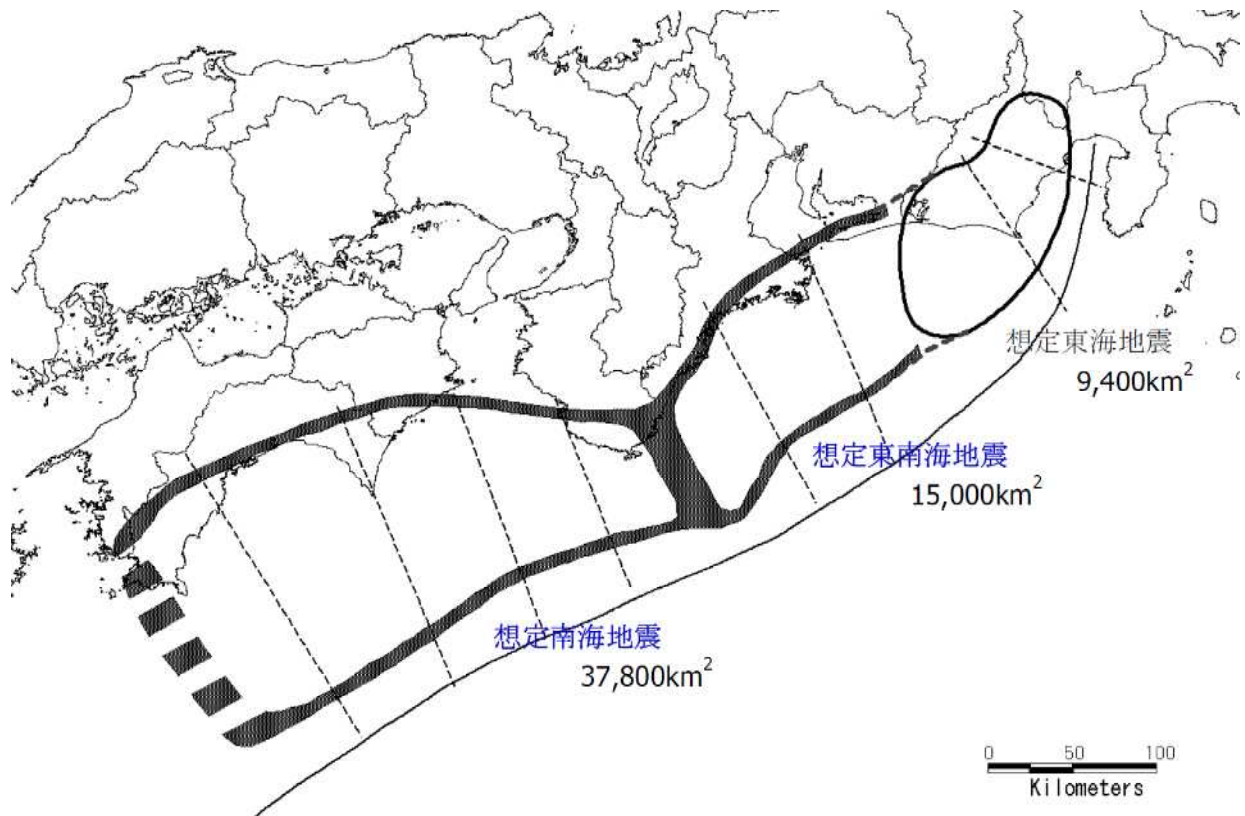
有馬高槻断層帯地震



中央構造線断層帯地震



イ 南海トラフ説明図（東海、東南海、南海地震の想定震源域）



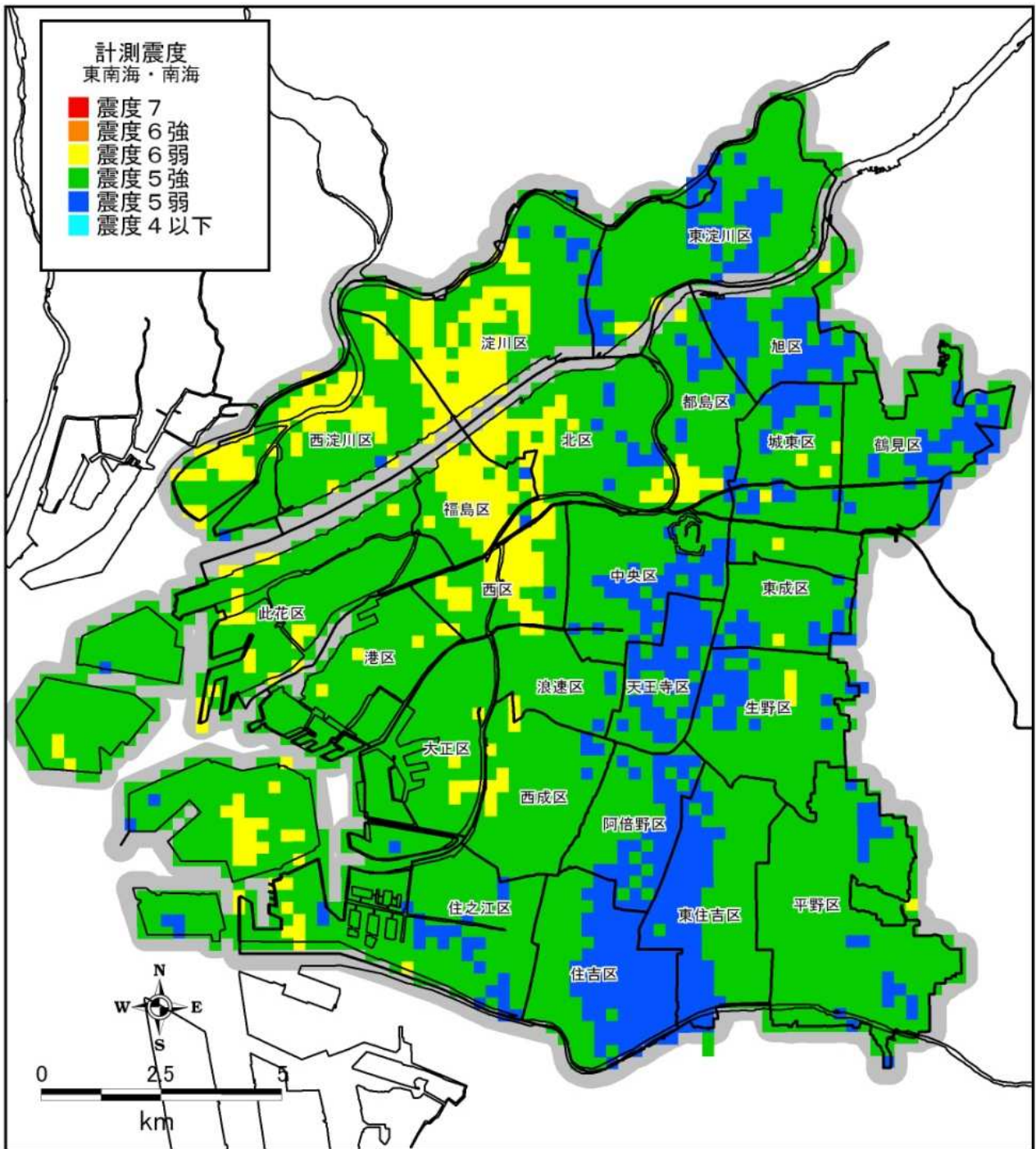
活断層の名称	地震規模	生野区において想定される被害等		
		震度	死者数	建物の全半壊
南海トラフ	7.9 ~ 9.1	5弱 ~ 6弱	18人	全壊 3,634戸 半壊 11,056戸

海溝である「南海トラフ」で起こる地震は、津波が発生するおそれがあります。
南海トラフ以外の太平洋で起こる地震により、ゆれ、津波が大阪にも影響することがあります。

例： 東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）（2011年3月11日）
大阪市域の震度2～3、大阪府沿岸に津波注意報

チリ中部沿岸地震（2010年2月27日発生）
大阪府沿岸に津波注意報（2010年2月28日）

ウ 南海トラフ（海溝型：東南海・南海地震）の震度分布



地震による地盤の液状化については、内陸活断層による地震のタイプ、海溝型地震タイプがあるが、海溝型地震の方が、液状化が発生しやすい傾向にあることから、次のとおり、海溝型地震による液状化の予測図を示します。

エ 液状化予測図（海溝型地震）

